

第1回 徳島市新体育館整備検討会議 会議録

日 時 平成30年5月2日（水）午後3時～午後4時

場 所 徳島市役所8階 庁議室

出席者 15名（委員9名、石井教育長、山尾教育次長、事務局4名）

傍聴者 なし

1 開会

2 教育長あいさつ

「とくぎんトモニアリーナ（徳島市立体育館）」は、現在、徳島市が所有するスポーツ施設の中で最も多くの市民の皆さん、またスポーツ団体からご利用をいただいている施設である。しかしながら建設後、約40年が経ち老朽化も進んできている。

先般は、現在の体育館をご利用されている利用団体の有志の皆さんから、遠藤市長に新しい体育館の整備についての陳情があったところである。

教育委員会としても、市民の皆さま方の健康づくり、またスポーツ振興の立場から新しい体育館は必要との認識のもとで、本日新しい体育館の検討会議を開催させていただき運びとなった。

皆さま方には、それぞれの専門的な立場から、忌憚のないご意見をいただけたらと思うので、ご協力をお願いしたい。

3 委員紹介

委員及び事務局紹介

4 設置要綱及びスケジュールについて

事務局：

資料1 徳島市新体育館整備検討会議設置要綱
について説明

5 会長・副会長の選出

会長に佐竹委員を選出、副会長に中山委員を選出

会長：

この検討会議の目的が達成するよう努力させていただき、委員の皆さま方にも専門的な立場からご意見をいただければと思う。

副会長：

今、徳島市体育協会の会長もしているが、徳島市スポーツ推進審議会の会長として、これまで2回も体育館を建て直す提言をしてきたが相手にしてくれなかった。ようやくこのよう

な会になったことを大変幸せに思う。

6 議事

(1) とくぎんトモニアリーナ（徳島市立体育館）の現状と課題について

会長：

議題(1)の「とくぎんトモニアリーナ（徳島市立体育館）の現状と課題について」事務局からの説明をお願いします。

事務局：

資料2 新体育館整備検討会議資料

1 とくぎんトモニアリーナ（徳島市立体育館）の現状と課題について
について説明

会長：

ただいま事務局から、現在の体育館の機能面での課題、それと今後整備の検討を進めていくうえでの課題の2つの課題について説明があったが、質問や意見があればお願いしたい。

A委員：

今後の検討していくうえでの課題について、利便性が高い市有財産の表で、駐車場が狭いという問題点が提示されているが、これには駐車場がどれだけ取れるかが書かれていない。これを書く必要があると思う。

また色々な課題があるが、利便性の面からいえば東工業高校跡地がいいと思うし、防災面からいっても津波浸水想定も高いところにあり、色々なことから考えて交通の便が良いのも大きな要点になってくると思う。

会長：

今の意見に対して事務局から何かあるか。

教育次長：

駐車場の台数だが、駐車場1台確保するために25平方メートルから30平方メートル必要となる。例えば100台分の駐車場を作るのであれば、2,500平方メートルから3,000平方メートルの面積が必要となる。

事務局：

あと、市立体育館の規模がまだ決まっていないので。

会長：

今後検討するうえで、駐車場に関しては1つ要因として大事だと思う。あと交通の便、防災についても大事だと思うので、検討課題として入れておいてほしいと思う。他に意見はあるか。

B委員：

今、東工業高校跡地が良いという意見が出たが、条件クリアの困難さが十分わからないので比較は難しいが、子どもたちのことを考えると、先ほど交通の便という意見があったが、駅から近いところが一番良いのではないかと。どちらかと言うと私は旧動物園跡地のほうが、駅から10分、15分で歩いて行ける。東工業高校跡地になってしまうと敷地は広いが、駅まで来て駅からまたバスに乗って行かなくてはいけない。そこが子どもたちにとって不便な気がする。

もう1点、旧動物園跡地は東工業高校跡地と比べて狭いが、北側にろう学校の跡地があるので、市の土地ではないが活用できれば素晴らしい施設ができる気がする。

会長：

交通の便、また旧動物園跡地について何かあるか。

A委員：

旧動物園跡地については、都市計画の関係で西新町の再開発の時に色々と検討したが、交通上、本通りに出るのに時間がかかり、結局、交通の便が悪いということになったエピソードがある。子供たちは歩いて行ったりバスで行ったりするので、子ども対象で考えるのであればそこでもよいが、自動車でたくさん来るのであれば本通りに出るまでに相当時間がかかる。出る時は一斉に出るので、信号待ちなどに時間がかかる問題がある。警察もそれには賛成できないという意見を聞いている。

C委員：

小学校体育連盟の会長をしている立場から、小学生が利用することで意見を言うが、今、子どもたちはJRとかバスを利用して徳島駅前に着いてから市立体育館に行くことが多い。そうすると小学生でも徒歩で行ける距離であるということ、徳島前から新たに交通機関を利用しなくてもいいという利便性を考えれば、旧動物園跡地のほうが子どもたちが利用するには非常に便利である。

D委員：

体育館は健康増進やスポーツに親しめる場、リラックスやリフレッシュの場、憩いの場という他にも、これからは地震とかの災害時には緊急の避難場所となる可能性もある。また駅から近いことに関しては、在職中に全国大会の徳島大会という千人以上の規模の大会に携わったことがある。その時に体育館を利用して会議をしたり、これからも徳島大会があるので、そういう場が必要である。

幼児の立場から考えれば、小さい時から体を動かすことはとても大事で、子どもや女性、社会的弱者にとっても使いやすい体育館、今日ちょうど読者の手紙に「徳島市複合型体育館望む」との意見が出ていたが、多分皆さま方はそのような色々な要素を持った体育館を期待していると思う。

E委員：

市民、県民のための体育館であると同時に、それぞれの種目において四国大会、全国大会が行われ、他県から来て喜んでもらえるような施設、設備がなければいけないと思う。今日は跡地をどういうふうにとの話なので中身は置いておき、全国から来た場合に一番大きいのはチームがバスで移動することである。音芸ホールの場合は大きなトレーラーが機材を積んで来るので、城東高校側の進入路は難しいと思うが、バスであれば選手を送ることが可能であるため、広い東工業高校跡地も悪くないが、近いところで選手輸送にも便利な場所ということで、旧動物園跡地を支持したい。

F委員：

今の施設の敷地面積はどれくらいなのか。

事務局：

約9,000平方メートルくらいである。

F委員：

9,000平方メートルといえば旧動物園跡地の半分くらいなのか。

事務局：

そういうことになる。

F委員：

身体障害者連合会の理事長をしているが、毎年体育館を借りて障害者のスポーツ大会をやっている。ちょっと困ったなと思うのは駐車場である。今も移動するには車で、移動手段の主たる物であるので、まず駐車場が必要である。

旧動物園跡地の場合、先ほども委員が言っていたが、平成7年ぐらいから徳島市の音楽芸術ホールを検討委員会において、私も当時から関わったことがあり、終わるとトレーラーでなく自家用車が国道方面に出る時に、どれくらい時間がかかるかが非常に問題になった。歩くのは駅から10分ちょっとで、当時の委員が自分で歩いたりもした。しかし歩くのには便利だが、今の交通状況を考えると非常に旧動物園跡地は難しいのではないかと。

当時、新町川で水上交通があり、今もやっているがそれを使えないかと議題になり検討もしたが、乗車定員などが問題になった。色々な問題をいかにクリアして、過去にこういうことがあったからダメだではなく、こういういい案があるというのをこれから組み合わせて検討する必要がある。

障害者の立場からいえば、施設の問題は後回しにしてもバリアフリーであってほしい。今2020年の東京オリンピック、パラリンピックで色々な検討がされているが、それが1つの参考事例になるのではないかと思う。

A委員：

皆さんの意見を聞いていると、それぞれ目的や利用団体によって条件があるように思う。子どもたちを重点にして考えるのか、全国大会を中心に考えるのかなどの目的別によって駐車場の広さなどが決まってくると思う。子どもたちを中心に考えるのであれば、今のところで駐車場を広く取る必要はないし、全国大会を実施するなら広い駐車場が必要となり、また障害者の場合にも駐車場が必要である。そのようなことから目的別にどこに重点を置くかを先に考え、そこからどのような施設にするか、例えばプロのバスケットやバレーボールが出来るよう考えていけばよいのではないかと。まずはどこに重点を置くかが施設を造るうえで重要である。

資料を見ると、全国的に見ても2,000平方メートルから6,000平方メートルくらいの建物が多いので、今の建物でも決して小さいということではない。徳島市の場合には財政面もあるので、それも勘案してできるだけ安くして有効に考えていくのも1つの方法である。

会長：

今、意見のあった何を優先するかは決まっているのか。

事務局：

そこまでは決まっていない。

F委員：

一般的に体育館はどれくらいの耐用年数なのか。このような建物の場合、日本ではあまりにも寿命が短いと思う。ヨーロッパなどは15世紀、16世紀に建てられたものをまだ使っており、国民の財産のストックはもの凄いの。日本は造っては壊し、造っては壊しで、いつも

思うのだが、体育館というのは日本の場合ほどくらい、諸外国であればどれくらいの寿命があるのか。それが1つで、あと多目的として今の体育館を置きながら次に造るとするのは財政的に無理なのか。今も修繕すれば十分に耐えられると思う。

会長：

今の施設をそのまま置きながら、新たに建てるということなのか。

F委員：

修繕すれば新設よりもずっと安くできるのではないか。その2点をお願いする。

会長：

耐用年数についてどうなのか。

事務局：

平成25年3月に公共施設長寿命化維持管理計画を策定しており、その中で市立体育館については標準的な使用見込期間が50年と定められている。

F委員：

これは大事に使って、地震が有る無しなのか。欧米などはどうなのか。古いものをずっと使っている。もったいない気がして仕方ない。それであれば今の体育館は置いておき、新しく造るのは国際大会が出来るほど、空港の近くでもいいので、そのようなスケールの大きい考え方が出来ないものなのか。

教育次長：

今の体育館は設備がかなり古く、多額の費用がかかり、また規模自体が今の現状に合っていない。維持費を考えれば両方持つことは考えられない。

G委員：

数年前に中徳島町を住まいにしており、旧動物園跡地のすぐそばにいた。利便的にいえば旧動物園跡地の中徳島町が良いと思うが、自動車、バス等が停止するには、とても道路が狭いのではないかと。裏は川で囲まれ、今現在は東工業高校跡地に近い場所で住んでおり、こちらも川に囲まれている状況ではあるが、末広大橋からしらさぎ大橋に道もつながる。子供たちからいえば歩いては行けないが、自動車、バス、県外からは高速道路を下りて来てもらえる場所としての利便的には良いと思う。敷地的にも広いので、予算もあるが今の市立体育館ではエレベーターもなく、色々な形で競技を行うのはとても出来ないと思う。新しく造るのなら広い土地で十分な計画を立てて、後世に約50年、広い土地で車やバスが置けるのが良いと思う。

数々の全国大会に行った中で、駅に近いと車が置きにくいし、大体の大きな体育館は離れたところにあり、バスをチャーターしないと移動できないことから、どちらがいいのかが課題であった。結局は大勢が県外から来ると貸切バスを利用するので、この2つの場所を考えると広いほうが良いと思うし、一方で子どもたちのことを考えると、駅から近いほうが良いとも思う。先の委員の意見で、徳島県内で考えると体育館が少ないので、難しいかもしれないが、できればもう1つ造ってもらえれば嬉しい。

会長：

副会長から何か意見はあるか。

副会長：

徳島市の体育協会が県庁所在地の施設を調べたことがあり、まず市民球場がないのは全国

で徳島だけで、それとテニスコートが5面しかないのも徳島だけである。その他施設として、スポーツ施設は徳島が最下位である。プールも大会が出来るようなプールはない。

根本的に考えなければいけないのは、今の市立体育館はバレーボールのコートが3面で、運営するトーナメントの場合には偶数でないと、奇数の場合にはもの凄く運営がしにくい。ですから規模自体、今は全国的に20年も前から4面時代、バレーボールあるいはテニスコートが4面取れる体育館が絶対条件である。そういう意味で体育館自体の規模をまずどうするかを論議することが一番である。それによって駐車場の問題も出てくるし、規模によってやらなければならないことを考える必要がある。規模を考えないと場所が決定できないのではないかと思う。今や全国4面の時代で、四国でも愛媛も香川も4面で、そのような状態である。それから入ったほうが良いと思う。

会長：

この会議の目的は跡地がどこかと決めるのか。あるいはどういう機能を持ったところまでも入るのか。

教育次長：

最終的には、どのような体育館を建てるかという考え方をまとめたいと考えている。土地についてはまだ色々な条件があり、協議することが多いと今は考えている。

今後の進め方については、競技団体にアンケートを取りたいと考えており、その中で適切な規模等を出してもらい、この検討会議にかけていきたい。

会長：

今後、利用者等にアンケートを取るということで、どういう体育館を市民が望んでいるのかによって、また1つの提案が出てくるかと思う。それを踏まえたうえで、場所等の次の検討に入れるかと思う。現状ではそれぞれの委員の立場から、駐車場あるいは駅からの距離など色々な意見をいただいた。

他に何か意見はないか。

委員：

特になし

会長：

色々意見が出たが、市側から確認しておく点などはないか。

教育長：

最初に説明させていただいたが、年間45万人の方が現在利用していただいている。基本的に、このように案を立てながら進めていくと、最終的に完成するまで5年、6年の期間がかかる。考え方としては現在の体育館を使いながら、適当な場所を探して同時進行で建てるという方向性で考えている。今は場所的には駅のすぐ近くでいいが、2年も3年も使えなくなるのは市民の方には不便ではないかということで、今の体育館を使いながら場所をある程度相談していただいて建設する方向でお考えいただくということと、旧動物園跡地については、北側が県有地でそのまた北側が国有地になる。広い場所ではあるが、隣接しているところが徳島市の土地でない関係もあり、市だけで進めることが難しい。東工業高校跡地についても県有地が隣接しているので、そのあたりも今後協議が必要と考えている。

先ほど委員からご指摘いただいた、大事に使うべきとの意見については、そのとおりだと思っている。できるだけ建てたものを大事に使いたいと思う。ただ今のように古くなると補

修に費用がかかる面があり、教育委員会としては2つあると願ったり叶ったりだが、人を置く等の維持管理で難しい面が出てくる。

今後、何回か検討委員会を開いていただくので、我々も資料やアンケートの結果等も出させていただき、色々なご意見を頂ければと思うので、引き続きよろしくお願ひしたい。

会長：

あと意見がなければ、このあたりでよろしいか。

委員：

特になし

会長：

色々な意見が出たが、どういう体育館を造るかという優先順位を決めながら、またそれに合った場所を今後選定していくということでまとめさせていただきたいと思う。

(2) その他

会長：

議題(2)の「その他について」事務局から何かあるか。

事務局：

今後のスケジュールについてですが、検討会議はあと3回程度を開催する予定であり、今後、体育館を利用している団体の皆さまにアンケート調査を実施して、今年度中に体育館の役割や機能を定めた「新体育館整備の基本的な考え方」について取りまとめを行いたいと思うので、ご協力をお願いしたい。

会長：

今後のスケジュールについて、何か質問等はあるか。

委員：

特になし

会長：

本日の議題はすべて終了したので、事務局へお返しする。

7 閉会

事務局：

次回の検討会議については、今後日程調整を行い、決まり次第ご連絡する。

以上で、第1回徳島市新体育館整備検討会議を終了する。